

令和6年度 能登半島地震復興支援セミナー 第10回 アンケート

【日時】 令和6年11月28日(木) 15:00～16:00

【タイトル】 防災と復興のリスクコミュニケーション

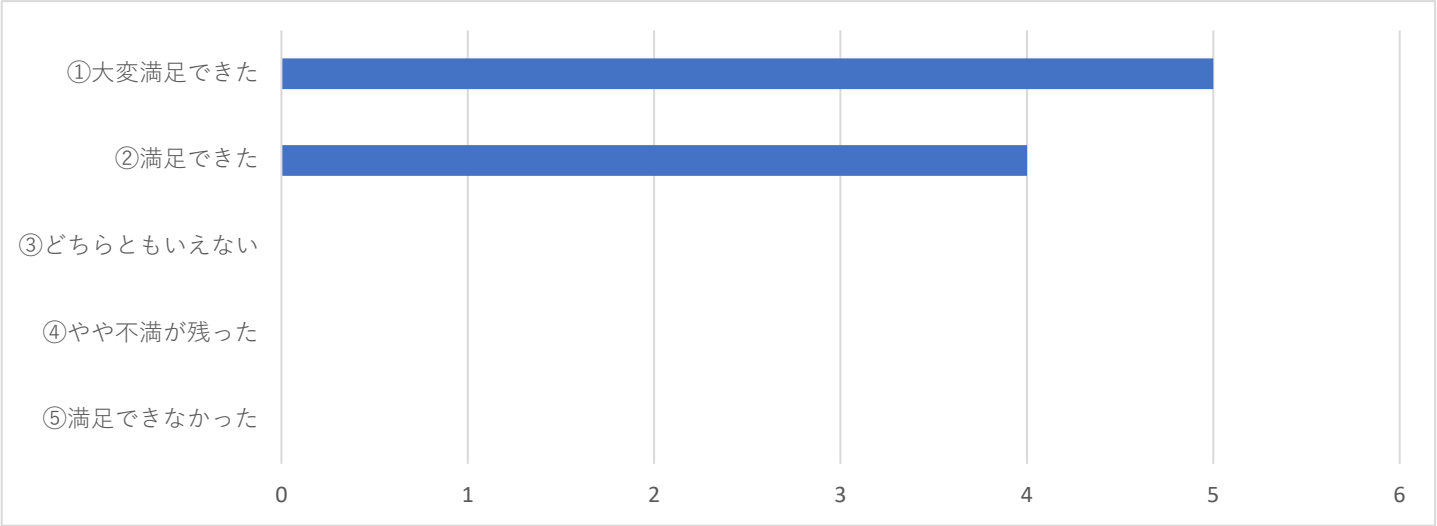
【講師】 福田 充

日本大学危機管理学部教授

日本大学大学院危機管理学研究科教授

日本大学災害研究ソサイエティ（NUDS）メンバー

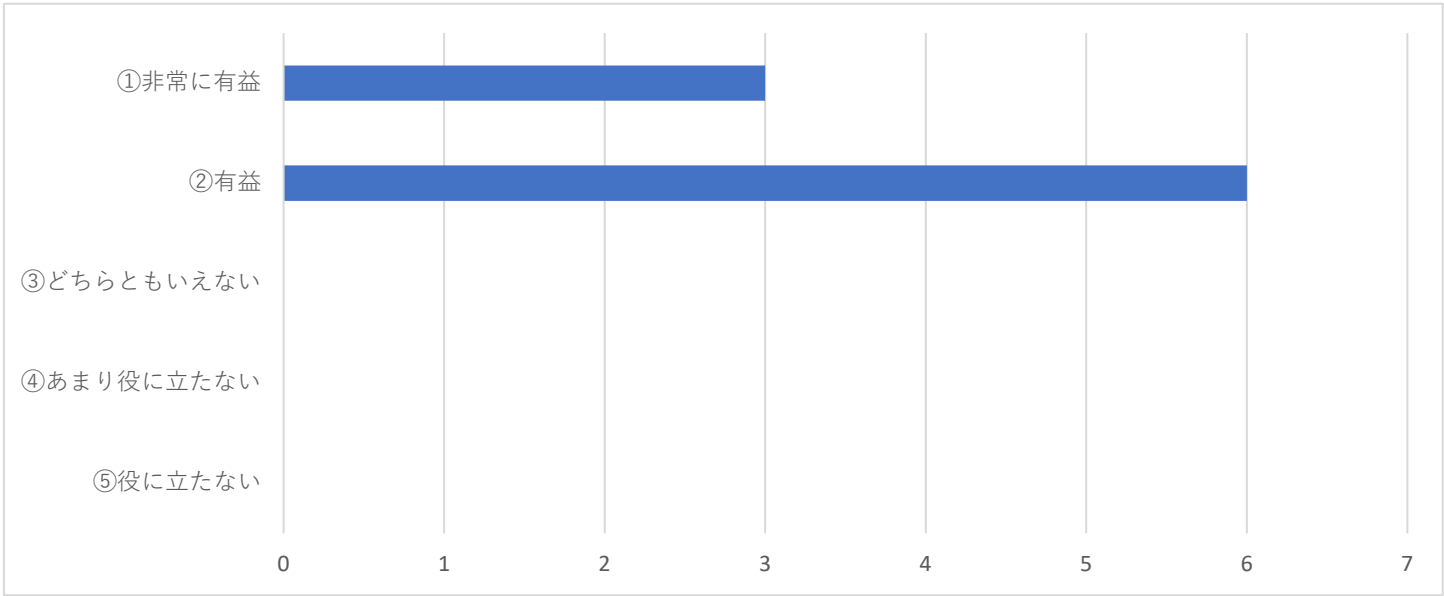
1.講演はいかがでしたか。



2.設問1の回答について、よろしければ、その理由を具体的にお書きください。

- ・ リスクコミュニケーションの考え方を明快に説明いただき、目から鱗でした
- ・ 災害だけでなく広く通じる考え方としての危機管理マネジメントは学びが深く得られました
- ・ 今後、様々な場面でリスクコミュニケーションを行うためにも、日頃から情報収集を行い、自分の考えや意見を持つことで議論が深まると感じた。
- ・ クライシスコミュニケーションとスマート備蓄についてお話を聞きたかった

3.被災地の現状を知るため又は復興のために役立つものでしたか。



講演内容やセミナー運営等で、良かった点、不満足な点、感想、お気づきになった点などございましたら、ぜひお書きください。

- ・ずっと発信し続けてほしい

自宅に住むことができている人が、仮設に住む人の今後として「自宅再建を個々に語るのではなくひとまとめで暮らすのが良い」と話している場面があり創造的復興とは何なのか疑問を感じ続けている

- ・時間の都合でスライドをはしおられたので、もう少し長めの時間でもいいかもしれない
- ・リスクコミュニケーションは何から始めれば良いか私もよくわかっていませんでしたが、今回のセミナーを受けて、セミナーを通しての学び合いや意見交換、メディアを通して防災に関する知識を得ることもリスクコミュニケーションになることを知りました。どうやって防災を構築していくかをこういった学ぶ機会を通して考えていくことが大切だと認識できました。引き続き色々な講演を受講させていただき、学びを深めたいと思いました。